

令和4年度事業報告

自 令和4年 4月 1日

至 令和5年 3月31日

1. 概況

法人会の理念「法人会は税のオピニオンリーダーとして企業の発展を支援し 地域の振興に寄与し 国と社会の繁栄に貢献する経営者の団体である」に則り、法人会の目的達成に向け法人会活動を積極的に展開できるよう県下六法人会の活動を支援し、広報活動や推進施策を実施し、税制改正提言活動、租税教育活動（租税教室講師派遣・税に関する絵はがきコンクール）、社会貢献活動、e-Tax・eLTAX普及促進、インボイス制度の周知、ダイレクト納付の周知、消費税期限内納付推進運動、自主点検チェックシートの活用、いちごプロジェクト、健康経営プロジェクト等を行って納税意識の高揚と啓発活動に努めました。また、全法連の事務局強化施策にもとづいて県連も県下六法人会事務局の充実に向けた支援策を模索しています。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも知恵と工夫をこらした事業活動を展開しました。そうした中、全法連指導のもと県連並びに県下六法人会は連携して情報の収集に努め、協議して新たな法人会活動の推進を目指し活動を展開しています。

下記のとおり県下六法人会の活動を支援するため、諸事業を実施しました。

2. 事業活動

(1) 税知識の普及と納税意識の高揚並びに税制税務調査研究と提言に関する事業

① 税の広報事業

イ. 新聞広告

税を考える週間（11/11～17）にあわせ、11月11日（金）に全法連作成原稿を新聞広告として掲載しました。今回も会員募集の広告とし、広く税に関する知識の周知と啓発、納税意識の高揚に努めました。

ロ. アドクラブ新聞広告

半三段・半二段広告を一年間（e-Tax）実施した結果、本年度は60回掲載しました。この枠を利用して巡回講演会やその他法人会事業の周知を行い、広く一般参加を呼びかけ、法人会活動の周知に努め、税の啓発と広く一般への情報提供に活用しました。

ハ. ラジオ広告

全法連作成ラジオCMを11月11日（金）から17日（木）までFM香川と西日本放送で各18本ずつ放送し、法人会の啓発活動について広く一般に周知しました。

ニ. ホームページの活用

香川県法人会連合会ホームページは、全法連の統合プラットフォームを活用し、県連事業・県下法人会の行う事業の周知と税情報の提供を行いました。

また、県下法人会のホームページをサポートするため、全法連の統合プラットフォーム・法人会アンケート調査システム等の情報提供、運営支援を実施しました。

② 税の提言活動

令和5年度税制改正に関して、県下法人会から提出された税制改正提言事項にもとづき6月8日(水)税制委員会を開催して香川県法人会連合会の提言事項を取りまとめ全国法人会総連合に提出しました。全国法人会総連合では令和5年度税制改正提言事項を作成し、その提言にもとづいて自治体・地方議会・県下選出国會議員に提言活動を行い、その実現に努めました。

香川県選出6国會議員・香川県知事並びに議會議長・県下17の自治体首長並びに議會議長(県下単位会)

(2) 地域企業の健全な発展に資する事業と地域社会への貢献を目的とする事業並びに法人会が行う税を巡る諸環境並びに地域の経済社会環境の整備等の各種事業を支援する事業

① 研修事業

調査課所管法人に対する税務研修会

3月10日(金) 13:30からJRホテルクレメント高松で高松国税局調査査察部調査管理課長・主査・調査官が講師となって、「令和5年度税制改正大綱の概要について・グループ通算制度の概要・その他」を説明し、県下から37社52名が出席しました。

② 経営等支援事業

イ. 巡回講演会

県下各法人会と共催して、地域企業の発展と地域社会への貢献を目的として下記のとおり巡回講演会を開催しました。コロナ禍の影響はありましたが、高松・観音寺・坂出・大川・小豆島は開催しました。丸亀は昨年度延期した講演会を9月10日に開催しました。参加者合計は865名でした。

1月29日(日) 坂出法人会 15:00~16:30 坂出グランドホテル 125名
講師 シンガー 木山裕策 氏
演題 「ガンが教えてくれたこと~自分に向き合って見つけた夢~」

2月 3日(金) 小豆島法人会 14:00~15:30 小豆島ふるさと村ふるさと荘交流センター 49名
講師 (株)サンクラッド 代表取締役 馬場加奈子 氏
演題 「子育てと仕事の両立~地域コミュニティの形成~」

2月22日(水) 観音寺法人会 14:00~15:30 ハイスタッフホール 245名
講師 フリーキャスター・事業創造大学客員教授 伊藤聡子 氏
演題 「ポストコロナで求められる女性の力」

2月24日（金） 大川法人会 14:00～15:30 源内音楽ホール 165名
 講師 元南極地域観測隊調理隊員 渡貫 淳子 氏
 演題 「南極生活で学んだ食材と環境を大切にすること
 ～無理なく楽しく食品ロス削減に取り組む～」

2月27日（月） 高松法人会 13:30～15:00
 JRホテルクレメント高松 281名
 講師 料理研究家 大原千鶴 氏
 演題 「やさしい和食でムダなく美味しく」

ロ. セミナーオンデマンドサービス

県下法人会支援としてホームページの充実と情報提供、地域企業の健全な発展と地域社会への貢献を目的として、県連が窓口となってサービスを実施しました。

利用者の増加を目指して周知に努めていますが、アクセス数は減少しています。

セミナーオンデマンドサービスアクセス数は次のとおりとなりました。

法人会名	利用月											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
高 松	1,923	921	993	1,325	920	702	951	925	958	548	584	548
丸 亀	704	372	385	496	441	360	467	437	388	303	243	218
観音寺	632	438	452	689	371	333	404	343	358	275	231	210
坂 出	459	281	356	276	223	356	291	171	321	207	145	227
大 川	386	307	396	374	250	303	258	183	287	214	147	277
小豆島	289	162	123	324	187	180	210	151	182	120	115	154
計	4,393	2,481	2,705	3,484	2,392	2,234	2,581	2,210	2,494	1,667	1,465	1,634

③ 助成金運営事務委託事業

全法連から委託された助成金運営事務により、助成金申請・報告等の取りまとめを行いました。

全法連・県連活動方針、法人会の情報等を提供し、県下法人会職員の研修等を行いました。

- 第1回事務局長会議 9月16日（金）全法連会議報告・県連事業等について
- 第2回事務局長会議 12月15日（木）全法連会議報告・県連事業等について
- 第3回事務局長会議 1月31日（火）令和4年度事業・令和5年度事業計画
- 第4回事務局長会議 2月28日（火）令和4年度事業・令和5年度事業計画

(3) 法人会の充実発展に資する事業と法人会会員の福利厚生制度に資する事業

① 助成事業

県下法人会の事業活動を支援するため補助と情報のサポートを実施しています。

② 青年部会連絡協議会活動

県下法人会の青年部会活動を推進し法人会の充実発展を目指すため、青年部会連絡協議会で情報の提供と意見交換等をはかり、租税教育活動を通して法人会の目的達成に向けて情報と活動の共有化を推進しました。また、健康経営プロジェクトの推進に努めています。

4月25日(月) 正副会長会(リモート) 19:00~20:00 7名

議題1. 令和3年度事業実施状況の報告について

議題2. 令和4年度事業計画について

7月12日(火) 会員交流会議 18:00~20:10 JRホテルクレメント高松 38名

議題1. 令和3年度事業報告並びに決算報告について

議題2. 令和4年度事業計画並びに予算について

議題3. その他

令和5年3月末青年部会員数

高松67名 丸亀32名 観音寺31名 坂出64名 大川23名

小豆島28名 計245名

③ 女性部会連絡協議会活動

県下法人会の女性部会活動を推進し法人会の充実発展を目指すため、女性部会連絡協議会で情報の提供と意見交換等をはかり、特に「いちごプロジェクト」「税に関する絵はがきコンクール」を推進し、女性部会活動を推進しました。

7月26日(火) 正副会長会 12:00~14:00 高松大同生命ビル 9名

議題1. 全法連女連協定時連絡協議会報告

議題2. 令和3年度事業実施状況・決算について

議題3. 令和4年度事業計画・予算について

議題4. 税に関する絵はがきコンクールについて

議題5. その他

令和5年3月末女性部会員数

高松58名 丸亀36名 観音寺165名 坂出71名 大川102名

小豆島63名 計495名

④ 福利厚生制度の推進事業

県下法人会の会員の福利厚生制度を推進する目的で、コロナ禍を踏まえて県連が取扱会社と連携し、その推進に向けて情報の提供と支援体制の構築に努めました。

⑤ 年末調整本の販売

年末調整事務をスムーズに行い、間違いのない申告を目指し販売している年末調整本について、県連が窓口となって販売に関する事務を取りまとめました。今回は研修会会場中心の販売となりました。

(4) その他本会の目的を達成するために必要な事業

① 会員増強運動

(単位：社)

法人会名	令和4年6月末			令和4年12月末			令和5年3月末	
	法人数	会員数	加入率	法人数	会員数	加入率	会員数	加入率
高松	10,950	3,342	30.5%	11,069	3,340	30.2%	3,351	30.3%
丸亀	2,695	1,424	52.8%	2,814	1,429	50.8%	1,439	50.8%
観音寺	2,035	1,155	56.8%	2,040	1,157	56.7%	1,151	56.5%
坂出	1,706	853	50.0%	1,694	852	50.3%	880	52.1%
大川	1,151	987	85.8%	1,172	988	84.3%	976	82.6%
小豆島	790	391	49.5%	795	392	49.3%	392	49.3%
合計	19,327	8,152	42.2%	19,584	8,158	41.7%	8,189	41.7%

コロナ禍における会員増強は大変難しく、工夫をこらして会員増強に努めましたが、厳しい状況が続いています。令和4年度は法人数が増加(+176社)し、会員数は減少(-75社)し加入率は0.8%マイナスとなりました。

② 全法連ほうじん・ポスター・グッズ等の活用

県下法人会では、全法連作成のほうじん・ポスター・グッズ等を活用した法人会活動・税の啓発に努め、県連はその取りまとめと活用の推進をはかりました。

③ 租税教育活動

県下法人会の租税教育活動を支援し推進に努めています。

県下法人会は青年部会・女性部会を中心に小学校に講師の派遣を行い、租税教室を開催しました。

税に関する絵はがきコンクールは、高松(387点)・丸亀(438点)・観音寺(732点)・坂出(295点)・大川(200点)・小豆島(151点)の計2,203点の応募があり、県下法人会から提出された代表作品を選考した結果、県連代表作は大川法人会から提出された作品となりました。(四国四県の代表作品による選考を行った結果、四国の代表作は愛媛県連の作品が選ばれました。)

県下各法人会から提出された代表作品には、県連から図書券を贈呈し、あわせて県連代表作には県女連協会長名の表彰状も贈呈しました。

④ 諸会議

第10回定時総会	6月21日(火)	16:00~19:50	JRホテルクレメント高松	95名
監査	5月17日(火)	12:00~13:30	高松大同生命ビル	4名
第1回理事会	5月26日(木)	12:30~13:50	JRホテルクレメント高松	55名
第2回理事会	3月27日(月)	16:30~19:00	JRホテルクレメント高松	59名
研修委員会	4月22日(金)	12:00~13:20	高松大同生命ビル	9名
広報委員会	4月26日(火)	12:00~13:30	高松大同生命ビル	9名
組織委員会	4月27日(水)	12:00~13:40	高松大同生命ビル	10名
厚生委員会	5月9日(月)	12:00~13:50	高松大同生命ビル	13名

総務委員会	5月10日(火)	12:00~13:50	高松大同生命ビル	10名
税制委員会	6月8日(水)	12:00~13:40	高松大同生命ビル	9名
第2回総務委員会	10月26日(水)	12:00~13:05	高松大同生命ビル	8名
福利厚生制度推進連絡協議会(第2回厚生委員会)	10月31日(月)	17:00~19:20	JRホテルクレメント高松	15名

⑤ 全法連事業への参画

統合プラットフォームの活用

自主点検チェックシート活用の推進

法人会アンケート調査システムの登録と活用の推進

いちごプロジェクト(夏・冬)は、県下女性部会中心に実施しました。

健康経営プロジェクトは、県下青年部会が実施しました。